

教科名	国語	週時間数	3時間	学年	3年
使用教科書 副教材等	・教科書 現代の国語 3(三省堂) 中学書写(光村図書) ・副教材 学習漢字ノート(浜島書店) 新・国語の便覧(正進社) つまずかない!文法の学習(新学社) 学習の達成(新学社)				

教科のねらい	<p>言葉の意味、働き、使い方等に着目しながら、言語活動を通して、国語で表現された内容や事柄を正確に理解する資質・能力、国語を使って内容や事柄を適切に表現する資質・能力を身に付ける。</p> <p><知識及び技能>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれる情報の扱い方、我が国の言語文化に関することなど、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。 <p><思考力、判断力、表現力等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 論理的に考える力や共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 <p><学びに向かう力、人間性等>に関するねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 				
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 4人班を中心としたグループ活動を取り入れる。 教科書を中心にして進めるが、必要に応じて、プリント学習、辞書などを活用する。 教材によって学習活動課題は異なるが、発表・音読・スピーチ・表現活動など生徒一人ひとりが活動できる工夫を行い、興味・関心を高める。 				
定期考査	出題方針	授業内容を中心に、観点別の問題を出題する。(読解問題を中心として、言語・作文問題など。)漢字問題は、「漢字ワーク」より出題。			
	範囲 (予定)	1学期中間	詩 物語 文法 漢字 作文		
		1学期期末	説明文 俳句 文法 漢字 作文		
		2学期中間	物語 説明文 文法 漢字 作文		
		2学期期末	古典 詩 物語 文法 漢字 作文		
		学年末	説明文 物語 文法 漢字 作文		
主体的に学習に取り組む態度	振り返りの内容、提出物・課題への取り組み方、授業中の様子				
思考・判断・表現	授業中の課題の内容、宿題、単元テスト、聞き取りテスト、定期テスト(話す・聞く・読む・書く)				
知識・技能	漢字小テスト、書写、暗唱、単元テスト、定期テスト(漢字・文法・古典知識・文学史等)				
学習方法 (先生からのアドバイス等)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをしっかりと持った上で、他の人の考えを聴く。 わからないことをそのままにせず、復習、漢字テスト勉強等、自ら学習を進める。 単元プリントや過去の入試問題などで、多様な出題形式に慣れる。 新聞や本を読み、多様な表現に触れたり、知識を深めたりする。 				

学期	月	単元	学習内容	学習のポイント
1	4	・詩	「岩が」	◎描かれた情景を想像し、詩に込められた作者の思いを捉え、自分の考えを持つ。 ◎小説の構成や場面の展開に注意し、過去を回想する語り手の思いを捉える。 ◎辞書の語釈について理解する。 ◎話し合いの方法を理解し、活用する。 ◎構成や表現の仕方について評価する。 ◎間や和を観点に、日本文化について自分の考えを深める。 ◎条件に応じて説得力のある文章を書く。 ◎四字熟語について理解を深める。 ◎俳句の特徴を知り、情景や心情を表す語句に注意して、読み味わう。 ◎論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ◎筆者の見方に着目して、内容を具体的に読み取り、「希望」の意味を捉え、自分の考えをもつ。 ◎和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。
		・物語	「握手」	
	5	・言語 ・話す/聞く ・評論	「言葉発見①」 「グループ・ディスカッション」 「『批判的に読む』とは」 「間の文化」	
		・書く ・言語 ・俳句	「課題作文」 「漢字のしくみ」 「俳句の世界」 「俳句十句」	
	6	・書く ・随想	「批評文」 「希望」	
	7	・言語	「言葉発見②」	
	2	9	・論説	
		・話す/聞く	「パブリックスピーキング」	
		・言語	「言葉発見③」	
10		・古文	「和歌の世界」	
11		・古文	「おくのほそ道」	
		・言語 ・漢文	「言葉発見④」 「論語」	
12		・情報 ・論説 ・実用文 ・書く	「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」 「情報社会を生きる」 「広告の読み比べ」 「ポスター」	
	・詩	「初恋」		
3	1	・物語	「故郷」	◎登場人物の言動や関係を捉え、作品に表れているものの見方や考え方について自分の考えをつくる。 ◎相手や場に配慮した言葉遣いについて理解する。 ◎筆者の主張を捉え、自分の知識や経験と照らし合わせながら、内容を理解し、これからの社会について自分の意見をもつ。 ◎言葉の使い方や人物の描かれかたに注意して読み、身近な人との関わり方について考えを深める。
	2	・言語	「言葉発見⑤」	
		・論説	「文殊の知恵の時代」	
		・小説	「坊っちゃん」	

・漢字学習については、副教材で進めていく。

・書写については、2学期を中心に取り組んでいく。(10時間程度)